

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	<b>11</b>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<b>2</b>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<b>6</b>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<b>11</b>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	4670800269
法人名	医療法人 吉祥会
事業所名	グループホーム 美楽居
訪問調査日	平成21年11月4日
評価確定日	平成22年1月6日
評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま

**項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年11月7日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4670800269
法人名	医療法人 吉祥会
事業所名	グループホーム 美楽居
所在地	鹿児島県出水市平和町347 (電話) 0996 - 63 - 8000

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま		
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号		
訪問調査日	平成21年11月4日	評価確定日	平成22年1月6日

## 【情報提供票より】(21年10月15日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 5 月 20 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	10 人, 非常勤 5 人, 常勤換算 13 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 モンタル 造り 1階建て の1階部分
------	--------------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
または1日当たり		1000	円	

### (4) 利用者の概要(10月15日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名	
要介護1		名	要介護2	2	名	
要介護3	6	名	要介護4	9	名	
要介護5	1	名	要支援2		名	
年齢	平均	87.6 歳	最低	72 歳	最高	97 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	吉井中央病院 福留歯科医院
---------	---------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは出水の373号線沿いに同法人の病院・老人保健施設と隣接した位置にある。駐車場も広く、周囲を樹木が囲み、花壇やホームの中庭にも季節の花や野菜が植えられ、利用者の目を楽しませている。ホーム内はゆったりとした明るい清潔な心地よい環境を保っている。医療、福祉面からのバックアップも充実し、利用者、家族、地域社会の安心と信頼を得ている。職員の教育、資格取得にも力を入れ、より良いケアを目指し継続的に取り組んでいる。職員は利用者のその日の思いや意向に沿って対応し、安心して笑顔で暮らせるように支援している。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回、改善課題はあがってはいないが外部評価時のコメントをもとに継続、向上に取り組んでいる。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	職員は勉強会を開き評価の意義や各項目のねらいなどを理解し、評価に取り組んでいる。時間をかけて職員全員で自己評価に取り組み、継続的な改善につなげている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	3ヵ月に1回開催している。会議ではホームでの行事や取り組み、評価などの報告をし、出された意見を質の向上に活かしている。会議内容にミニ介護教室などを取り入れ工夫している。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	入居時に第三者委員の設置や意見箱について説明している。家族が意見を言いやすい雰囲気作りにも配慮している。来訪時に意見や要望などを伺い記録し、毎月クレーム委員会で検討し、運営に反映させている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	祭りや文化祭などの地域行事や法人合同の夏祭りでの交流をはじめ、地元の人々との日常的な挨拶や地域での買い物、学生の実習や地元のボランティアの訪問も受け入れている。また、認知症についての啓発会を設けたりと積極的に取り組んでいる。地域住民の災害時の協力ももらっている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人としての共有理念のもと、全職員地域密着型サービスを理解している。ホーム独自に毎年品質目標を設定し、職員の専門性の向上と利用者、職員の笑顔あふれるホームを目指している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念と年度の目標を玄関、事務所、パンフレットに明記している。毎年の目標を職員と話し合い定めている。朝礼時に全員で理念を唱和し、理念の実践に向け取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のお店での買い物や散歩中、挨拶を交わしたりしなじみの関係を築いている。地域のイベント(文化祭、桜まつり、ソバ市)に参加している。学生の実習や地元のボランティア、介護教室、認知症についての講習など実施している。法人主催の運動会、敬老会、食事会などでも地域住民、家族と交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	年1回評価について勉強会を実施し、評価の意義や各項目ごとのねらいを理解している。自己評価は全職員で取り組んでいる。外部評価後は会議の場で話し合い、質の向上に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議においてメンバーより「グループホームを地域に啓発する必要がある。」「運動会が今の時期だと孫の運動会と重なり出席者が少ない。」など、意見をもらい改善に取り組んでいる。ミニ介護教室、救急法を会議の中で実施。勉強会を兼ねた会議を工夫し、好評を得ている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険課担当者とは常に相談連携を図っている。グループホーム協議会の活動にも協力してもらいともに質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	個々の近況報告書を毎月送付している。面会や電話でも近況を報告している。ホーム便り(年4回発行)で職員の異動は報告している。金銭管理は基本的には預からない方針をとっている。必要な時は立て替え払いとしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している。隣接の老人保健施設と合同でクレーム委員会を設置し、利用者の声を記録し、分析、対策まで検討し運営に反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の入れ替え、退職もなくなじみの支援が継続できている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎年、職員と面接を行い、段階に応じた研修計画を掲げ、個々の目標に応じて参加している。毎月の内部研修は担当者がテーマを決め実施している。外部研修、法人研修など積極的に受講、情報を共有している。資格支援も積極的になされ、介護福祉士が半数を満たしている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	出水、川薩地区グループホーム協議会を設置し、勉強会や講演会をはじめ、同業者との交流を図り、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に何度も利用者、家族と面談している。面談に十分時間をかけ、ゆっくり話し合っている。見学は利用者も一緒に来てもらい、本人納得の上、入居となるよう努めている。入居後は声掛けや入居者同士のつながりを見守り、家族や関係者などと相談をしながらなじんでもらえるよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者から調理の仕方、作法、園芸など学び、利用者も職員をいたわるなど、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽をともにし支えあう関係を築いている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者中心のケアについての学習会をもち、職員全員で勉強しながら思いや意向の把握に努めている。利用者の思いを表現しやすい雰囲気作りに努め、言動や表情を察知しながら傾聴し、よりよいサービスに心がけている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日常の個別の記録やアセスメント、担当者会議などを経て本人・家族・職員・主治医・理学療法士などの意見を反映させた介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的には認定期間に合わせているが毎日の申送りや記録、3ヵ月毎のモニタリングで評価し見直しをしている。心身の状態変化に応じてその都度見直し、現状に即した新たな計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制を活かし、入院の回避、早期退院などの支援ができています。家族・利用者の希望により通院支援、買い物、墓参り、理美容院の送迎など柔軟に支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。主治医との連携は密に取れている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用時に重要事項説明書の中で重度化した場合の対応指針の説明をし、利用者・家族の意向を確認し、同意をもらっている。状況に応じてその都度、家族・医療機関・職員などと話し合いの場を持ち、方針の共有を図っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	研修会に全職員が参加し、守秘義務や個人情報保護法について学び、意識向上を図っている。排泄、入浴などプライバシー保護に留意している。職員採用時利用者の秘密保持、個人情報保護に関する誓約書をとっている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日どのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな一日の流れはあるが、利用者一人ひとりのペースを理解し、その方の希望に沿った支援を行っている。利用者の自己決定を大切に、起床、昼寝、消灯の時間など個々に応じた暮らしを支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は利用者の嗜好、旬の食材を取り入れ簡単な下ごしらえ、後片付けなど職員と一緒にしている。和やかに味の批評をしたり、会話を楽しみながら食べている。食事は適量で美味しいと、利用者は楽しみにしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は利用者の希望や状況に応じて毎日入浴できる。入浴時間も状況に応じて柔軟に対応している。入浴を拒む方には声掛けや対応に配慮しながら入浴支援に努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力に応じて裁縫、園芸、掃除、行事ごとでの挨拶、文化祭出品のパッチワーク(テーブルクロス)などの役割やドライブ、田植え、稲刈りの見学、芝居見学、買い物、行きつけの理美容院、外食、お祝い食事会など楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や日光浴、園庭での昼食、買い物など個別や少人数で日常的に外出している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの弊害を理解し、日中は鍵をかけないケアを実践している。常に利用者の居場所について安全確認を図っている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人で災害対策マニュアルを作成し、消防署、消防分団員指導のもと年2回避難訓練(昼夜想定)を実施している。運営推進会議を通じて地域住民の協力をもらっている。備蓄は法人の隣接施設にて保管している。台風などに備えホームでも随時、飲食物などの保管をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量は毎食記録し、1日の栄養摂取量も計算している。栄養バランスは栄養士のアドバイスを受けて把握している。きざみ食やお粥、嗜好品など一人ひとりの状況に応じ、食がすすむよう工夫、配慮している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームの壁全体が優しい花柄模様で、明るくゆったりした共用空間は季節感を取り入れ、音や光に配慮している。台所、食堂、居間と空間が一体化しながらもそれぞれの居場所でゆっくりくつろぐことのできる家庭的な温かさがある。利用者は中庭に植えられた季節の花や野菜を廊下越しに見ながら心を癒している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	優しい花柄模様の壁が明るい温かい雰囲気を作り、ホームの準備した家具やベッドの配置を利用者の希望に沿って支援している。また、利用者の状況に応じてベッドを利用せず畳をしつらえ寝具を用意するなど、居心地良く過ごせるように配慮している。		